

## 環境大臣政務官 牧原ひでき議員主導による「犬猫処分ゼロ計画」のモデル地区として選定される自治体が、熊本市のトリック行政をマネすると、ますます不幸な命が増えます。

平22年8月当時のこと。熊本市動物愛護センターの処分数激減の巧妙なトリック。今は改善した感があるが、二度と同じ過ちを繰り返して欲しくない。  
目先の処分を減らすことよりも「処分される原因を減らす」のを第一義に置かないと、直接、処分に携わっている人だけが悪者にされるという間違っただけの方向へ行きます。

### ●引取拒否で処分数激減のトリック

熊本市は「野良が産んだ子猫の引取り依頼については、母猫を探して母猫へ育てさせるように促し、引取りを断る」と。これで行政処分数は激減する。この方法は、エサを与えるだけの不良給餌者の責任を問わず、母猫へ責任転嫁する方法。去勢不妊の啓発に逆行する。

猫は自力で不妊手術を受けることはできない。だからこそ人間が手術費を出すしかないのだ（因みに私はすでに3500万ほど使った。大半が野良猫へエサやるだけで不妊手術を受けさせない給餌者の手術代金肩代わりと、繁殖に罪悪感を植え付けるための啓発ビラのポスティング代）

矛盾点をもうひとつ。

仔猫の母猫をどうやって特定するのだろうか。できたとしても、母猫が人からエサを豊富に貰い、快適な環境にいないと子育てできない。エサが街にある？野良猫が安心して暮らせる街ですか！エサやり反対派のほうが圧倒的に多い！野良として街で死ねば行政処分数は激減する。行政処分ゼロ計画は熊本市をマネする自治体が増える可能性がある。

### ●熊本市トリック行政によって暗躍する業者

熊本市を「待ってました」とばかりに暗躍するのが引取業者（愛護団体の名を語ることがある）。熊本市に引取りを断られた飼い主を相手に、終生飼育を掲げて有料で引取り、多頭劣悪飼育をし衰弱死させれば営利企業として成り立つ。無論、預けたほうは告発しない。動物を手放したくて低料金で預けたという後ろめたさなのか、悪い意味で揉め事を嫌うからだろう。

### ●熊本市が定義する「自活できる仔猫」の矛盾点

犬猫はすでに野生ではない。人からエサや安全な環境を与えられてこそ生きられる。熊本市は離乳月齢に達すると『自活力のある個体』と定義して引取拒否。離乳月齢に達したとして、エサが豊富に街にありますか？！エサやりに反対する者のほうが圧倒的に多い！熊本市は行政処分数を減らす代わりに、街で野垂れ死する猫を増やした。仮にエサが街にある場合、去勢不妊をしないとますます野良猫が増えて街で惨めに死ぬ。それでも熊本市は行政処分ゼロに近くなるというカラクリ。

### ●行政施設内での保管について

一匹に付き一つの檻がないと適切保管はできない。檻があるとしても、それだけでは良い環境とはいえない

ない。保健所へ渡された犬たちは心に障害を持っているはず。協調性があるとは思えない。一部屋に無理に押し込んだら地獄。今どき闘犬に賛成する人はいないだろうが、熊本式を絶賛するのは行政施設内で闘犬を勧めるのと同じ。

## ●行政処分数削減に傾注する危険性

川・山へ捨てられる命、街で野良として死ぬ命、野良猫が増えたことで迷惑がられて毒殺される命、飼い主がいても虐待飼育によって衰弱死する命、生体販売業者によって虐殺される命、、、。行政処分数に計上されない命のほうが圧倒的に多い。

## ●引取り拒否は、他の自治体の引取り頭数を増やすことにも繋がる

福島市のブリーダーが売れ残った犬を地元の保健所へ持ち込むと足がつくため、宮城県の保健所へ持ち込んでいた。この件については管内の保健所が引き取りを断ったからではなく、このブリーダーの意思でそうしていた。この例からも類推できるが、管内の保健所が引取りを断れば、管内の処分数は減るが、他の自治体の処分数が増えるという仕組み。

尚、この福島市茂庭遠西の犬繁殖業の女のフルネームを知りたい方は当方までお問い合わせを。皆で情報を共有して、ブリーダーへは物を売らない、ガソリンを入れさせないなどの運動を起こしましょう（当方はこの女だけを批判しているのではなく、生体販売業全体を反社会的な業者と批判し、買人も反社会的だと糾弾しています）

## ●結 論

処分数ゼロ計画は、去勢不妊手術の徹底（法的には罰則を科す）によって実現すべきであり、行政が引取り拒否をしたところで去勢不妊が徹底されなければ「死に場所」が違うだけとなる。産ませた飼い主は命を持って余し、一日も早く、家から追い出す目的で新しい飼い主を探すのです。悪い人を無理矢理、良い人に見立てて、渡してせいせいしてるのです。もらわれて行った先で、不妊手術を受けさせてもらえず、子猫が無限に産まれて保健所へ持ち込またり、野良化させられたり、、、。この例からも、去勢不妊を怠る飼い主を犯罪者扱いし、罰則を科しましょう。行政処分場からレスキューして里親探しをする方法では抜本的解決にはほど遠いのです。目先の処分数を減らすよりも「処分される原因」を減らしましょう。

心の弱い人は、誉められるとまた誉められたくて同じことを繰り返す。熊本市のトリック行政には、職員の心の弱さが根底にある。誉められようが貶されようが正しいことが正しくて、間違っていることは間違っている。自分さえしっかりしていれば世間に振り回されることはありません。

〒 960-8066 福島市矢剣町 1 1 - 3 星野節子 024-563-7650

「アニマルポリス 星野」で検索できます

<http://www2.tky.3web.ne.jp/~meme/>

<http://ameblo.jp/animal-police>